

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路橋りょう費事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山(都市基盤の整備)	01	08	02	01	02	01
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山(都市基盤の整備)	主管課	道路管理課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市が管理する道路及び橋りょう等が適切に機能できるように事務管理する。	意図	道路及び橋りょう等の機能を維持し、社会インフラも管理する。
事業内容	・道路及び橋りょう等の維持・管理・運営に必要な事務用機器及び消耗品、PCソフト、使用料等を適正に処理する。			
事業開始から現在までの状況変化	・道路法に基づく適正管理。 ・旧来の里道(赤道)が国有から市へ譲渡されたことに伴い、法定外公共物として道路法に準じた管理をしている。TX関連整備事業の進展とも併せ、ライフライン関連の占用物件の許認可事務が増加している。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
指標で表すことができない定性的な成果	・上半期と下半期に分け、道路上での工事について、ライフライン事業者と調整会議を実施している。						目的に対する現状(客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況) ・企業者からの申請を調整することにより、道路上での工事期間の短縮や繰り返し工事を削減するよう努めている。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,162,640	7,223,214	5,141,507			
事業費(b)(円)		6,019,080	7,083,474	5,003,322			
うち一般財源		6,019,080	7,083,474	5,003,322			
職員給与費(c)(円)		143,560	139,740	138,185			
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ記入)							
想定耐用年数(年)(建設又は取得年度のみ記入)							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	・管理システムの内容を精査し改善方法等を確認する。また、OA用消耗品(カラープリンター)の使用を削減する
今年度(H26)に実施した取り組み	・管理委託業者と協議し、システムの改善を指示した。

取り組みの課題	・道路占用料の額の改定に伴いシステムの変更が必要となる。
今後の改善計画	・管理システムソフトを精査し、道路台帳システムを最大限活用する。(占用及び承認工事箇所と図面のリンク、印刷方法等)